

宇美東中学校から被災地へ

宇美東中学校から岩手県の陸前高田市立気仙中学校へ絵馬を贈りました。

「奇跡の一本松」の近くにあった気仙中学校は、校舎も津波の被害を受けたため、生徒たちは約4年経過した現在も内陸部の仮校舎で生活しています。

宇美東中と気仙中の交流は平成25年度のSkypelによるテレビ電話からスタートしました。気仙中に贈られた曲「空～ぼくらの第二章～」の全校合唱、ビデオレター制作、街頭での募金活動など、生徒会役員を中心に交流を続けています。昨年に引き続き、10月には、気仙中から受験のお守りとなる「大漁旗」が届きました。

今回は、大漁旗へのお礼の気持ちを込めて、「絵馬」のプレゼントをしようというアイデアが生まれました。「陸前高田に生息するウミネコや空でつながっている」というメッセージを込めて青空をデザインした作品が生徒の公募から選ばれました。美術部が制作した絵馬は、太宰府天満宮で合格祈願をしたのち、1月末に気仙中へ届けられました。



手作りした絵馬を手にする生徒(平成27年2月6日(金)西日本新聞22面より)

昭和43年宇美中学校卒業生同窓会から、宇美中学校へ寄附金が渡されました

2月18日(水)に、昭和43年宇美中学校の卒業生から、宇美中学校へ寄附金が渡されました。

これは、昭和43年宇美中学校の卒業生が、還暦を過ぎ、約47年ぶりに全体の同窓会を開催しようと実行委員会を立ち上げ、1月3日に当時の恩師2名とともに同窓会を開催し、その際に集められたものを寄付されました。

宇美中学校の先生は、「大切に活用させていただきます」と受け取られ、子ども達の楽しい学校生活のために、卒業生から在校生へ心つながる寄付となりました。



寄附金を渡される竹吉さんと受け取られた平田先生

宇美町老人クラブ連合会!本年も元気はつらつ活動しています!

1月8日(木)、毎年恒例の宇美町老人クラブ連合会主催の新春三社参りを行いました。

宇美八幡宮で宮司さんの神事を受け、参拝後、観光バスで山口県下関方面に向かい、忌宮神社、乃木神社、住吉神社でお参りを行いました。132名の参加があり、老人クラブの懇親が深まった楽しい日となりました。

また、1月24日(土)には、宇美町老人クラブ連合会主催の第12回囲碁大会を松田良太顧問の指導で行いました。段位者から級位者まで11名が参加され、盤上で熱戦を繰り広げました。順位は次のとおりです。

段位の部	優勝	八島勝(林崎)	級位の部	優勝	米倉和俊(ひばりが丘3区)
	準優勝	安河内悟(下宇美)		準優勝	嶋田彰(とびたけ3区)
	三位	坂井正敏(黒穂)		三位	占部善實(柳原)



たくさん笑顔があふれる1日でした

宇美町災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定を締結しました

2月9日(月)に、災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定を宇美町社会福祉協議会と締結しました。

これは、大規模災害が発生した場合において、ボランティア活動の必要性がある場合、社会福祉協議会に要請して、災害ボランティアセンターを設置し、ボランティアの受け入れ等その活動に必要な業務を行うことを目的としています。今回の協定の締結により、災害時におけるボランティアセンターの早期設置及び円滑な運営等を具体化し、有事の際の迅速な対応が期待されます。



協定を締結した木原町長と宇美町社会福祉協議会の江見会長

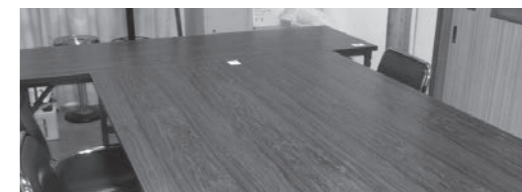
コミュニティ助成事業で室内土俵その他備品を整備しました



コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業(宝くじの助成金)で、室内土俵その他備品(保護マット、折り畳み椅子・テーブル)が桜原区とひばりが丘3区に整備されました。

このコミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されるもので、財団法人自治総合センターが助成決定を行うものです。

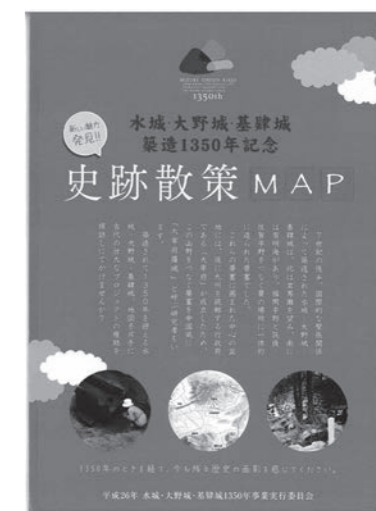
今後の2行政区のコミュニティの更なる活性化が期待されます。



助成事業により整備された備品が活用されています

水城・大野城・基肄城築造1350年記念史跡散策マップを作成しました!!

現在、町では関係自治体と連携し「水城・大野城・基肄城1350年事業」を実施しています。今回、実行委員会で、水城・大野城・基肄城築造1350年を記念して「史跡散策マップ」を作成しました。それぞれの遺跡への行き方、見どころなどを掲載しています。役場総合案内、ハピネス窓口、町立図書館ロビー、町立歴史民俗資料館にて、無料配布しておりますので、ぜひご利用ください。



散策マップを活用し、ぜひ歴史ロマンをお楽しみください